

予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：教育費 項：教育総務費 目：教育指導費

事業名 学力向上・授業改善推進事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

教育委員会義務教育課小中総合支援係 電話番号：058-272-1111(内8592)

E-mail : c17785@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 6,683千円 (前年度予算額： 7,291千円)

<財源内訳>

区分	事業費	財 源 内 訳						
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使 用 料 手数料	財 産 入	寄 附 金	そ の 他	県 債
前年度	7,291	0	0	0	0	0	217	0
要求額	6,683	0	0	0	0	0	287	0
決定額								

2 要求内容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

現行学習指導要領では、「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善を進めており、次期学習指導要領の改訂の議論においても、より一層の具現化・深化を図り、多様な子どもたちの「深い学び」を確かなものにしていくことが求められてくる。

教員の指導力の向上と岐阜県を担う児童生徒の学力を育成するため、子ども主体の学習やICTの効果的な利活用をはじめとした授業改善の推進、児童生徒の興味・関心や優れた能力をより一層伸ばすコンテスト等を実施する必要がある。また、今後、次期学習指導要領の改訂を注視しながら、市町村・学校・教職員のニーズ、教育課題に応え得る柔軟な事業メニューを開拓できるようにする必要がある。

(2) 事業内容

①確かな学力育成事業

- ・資質・能力の育成に向けた子ども主体の授業改善に資するテーマを設定し、実践を推進する推進教師を指定し、県指導主事による年間を通して伴走支援、実践交流等を通して県内に優れた好事例を横展開する。
- ・現行の学習指導要領とともに、改訂された学習指導要領を踏まえた教育を推進するための授業改善の研究を行うため、各教科等の外部団体の活動を支援する。

② I C T利活用推進事業

- ・資質・能力の育成に向けた I C Tの効果的な利活用に資するテーマを設定し、実践を推進する推進教師を指定し、県指導主事による年間を通して伴走支援、実践交流等を通して県内に優れた好事例を横展開する。
- ・各学校における I C Tを効果的に利活用した授業改善を積極的に支援するための I C Tアドバイザー派遣を行う。

③個性伸長事業

- ・児童生徒の関心や意欲を高め、個性を伸ばし、資質や能力を活用する力を育成するために日頃の成果を発表する場を提供する。

(3) 県負担・補助率の考え方

県負担10/10

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	684	講師謝金等
旅費	2,241	学校訪問、研究会等に係る旅費
消耗品費	1,274	ICT機器、賞状、記念品等
印刷製本費	829	リーフレット・作品集録の印刷、表彰状等の筆耕印刷
修繕費	200	物品等の修繕
役務費	5	賞状への筆耕等
保険料	31	傷害保険
委託料	917	会場設営等に係る経費
使用料	502	機器資材運搬、会場使用料等
合計	6,683	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・第4次岐阜県教育振興基本計画
施策II 「未来を創る確かな学力と実践力」の育成
8 未来を創る基礎となり、社会で活きる学力の育成
9 I C Tを利活用できる力の育成
10 科学技術・情報技術やものづくりへの関心の醸成、起業家精神等の育成

事 業 評 価 調 書 (県単独補助金除く)

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

(事業目標)

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

児童生徒一人一人が学力を育むため、「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善のより一層の具現化・深化を進め、多様な子どもたちの「深い学び」を確かなものにする子ども主体の授業改善や教材開発等の充実、普及を図る。

教育におけるＩＣＴの利活用にあたって、活用の具体や利便性、留意点等について実践研究や検証を行い、実践事例や成果、課題について普及を図る。

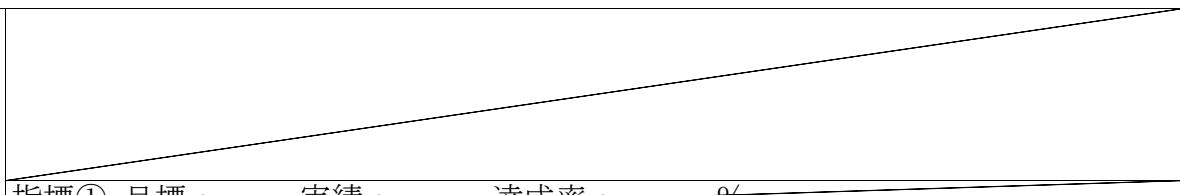
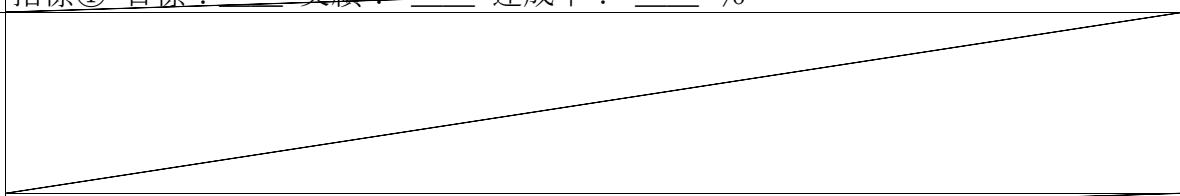
(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R10)	達成率
①						

○指標を設定することができない場合の理由

一人一人の児童生徒の確かな学力を育成し、多様な個性の伸長を図るとともに、全教科において取り組む事業であるため、指標の設定にそぐわない。

(これまでの取組内容と成果)

令和4年度	 指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %
令和5年度	 指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %
令和6年度	<ul style="list-style-type: none">・県内の全小・中学校の教員を対象に、学習評価の有識者からの研修を行い、学習評価の基本的な考え方等を学んだ。また、研究指定校での実践について、実践発表会を行い、普及を図った。・教育データ利活用推進校を有識者が訪問し、指導助言をしたり、学びの個別化や授業改善のためのリーフレットを配布した。・各種コンテストにおいて出品数や参加者数が増加傾向にあり、児童生徒の興味関心や優れた能力をより一層伸ばすことができた。 指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)

3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない

(評価)

3

・現行学習指導要領では、「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善を進めてきており、次期学習指導要領の改訂の議論においても、より一層の具現化・深化を図り、多様な子どもたちの「深い学び」を確かなものにしていくことが求められてくる。

・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)

3：期待以上の成果あり

2：期待どおりの成果あり

1：期待どおりの成果が得られていない

0：ほとんど成果が得られていない

(評価)

・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)

2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている

(評価)

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント
又は事業名及び所管課

【○○課】

組み合わせて実施する理由
や期待する効果 など